

# もみじ台中学校区 小中一貫した教育グランドデザイン

令和4年度

もみじ台中学校

もみじの森小学校

もみじの丘小学校

～小中一貫した教育の目的～  
「自立した札幌人」の実現に向け、義務教段階において「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実を図る

## 二つの柱

- ・課題探究的な学習
- ・発達の段階に応じた継続的な子ども理解

## 推進の視点

- ① 9年間を通した子どもの学びのつながり
- ② 子ども理解・生徒指導(支援)の連続性
- ③ 教職員の連携・協働
- ④ 家庭や地域との関わり

## 地域の実態・願い

- ・主に市営住宅と一戸建て住宅の2つの住区から構成されるもみじ台地域は、開発から半世紀を過ぎて居住者の高齢化と人口減少や少子化が顕著となっている。
- ・地域の方々は、恵まれた自然環境を生かした地域学習に前向きに関わったり登下校の見守り活動に多数が参加したりするなど、とても協力的である。
- ・平成22年に2つの小学校の統合、令和4年に2つの中学校の統合が行われている。その中でも、教育環境への関心は高く、地域の学校をより充実させたいとの声も強い。

## 子どもの実態

- ・素直で快活に活動し、相手の気持ちを思いやり大切にしようとする子どもが多い。その一方で、自主的な行動や活動には消極的な面もある。
- ・学習面ではきっかけや動機づけによって意欲的に取り組める子どもが増えてきているが、学力面や家庭学習の定着で課題を抱える子どももいる。
- ・不安が強かったり生活習慣の乱れがあったりする子どもも見られ、「わかる・できる」が実感できるような支援が求められる。

## 目指す子ども像

くじけないたくましさ、粘り強い意志をもち  
仲間とともに 豊かな感性と知性をみがく もみじの子

### もみじ台中学校

夢をもち 地域と共に生きる  
生徒の育成  
～たくましい心身 強い意志 豊かな情操 優れた知性をもつ生徒～  
**重点**  
新生 もみじ台中学校の基礎を創る  
～笑顔と共に 全教職員ですべての生徒を支援し 個々が伸びる～

### もみじの森小学校

自ら学ぶ力 と 共に生きる力 をもった 人間性豊かな子ども を育てる  
～いい顔 いい声 いい動き～  
**基本方針**  
児童一人一人が安心して通え、豊かな学びやコミュニケーションを重視した学校づくりの推進

### もみじの丘小学校

故郷をおもう心 世界をむすぶ笑顔 未来をひらく知恵  
～子どもの「心・笑顔・知恵」を生かした学校～  
**重点**  
あたたかい心で 学ぶ楽しさを感じたくましく生きる  
子の育成

具体的に考えられる取組み一覧（視点及び知・徳・体）

視点①	視点②	視点③	視点④
①小中合同授業研修会 <b>知</b> ②特別支援学級の小中交流 <b>知</b> ③小学校の中学校合唱フェスティバルの鑑賞 <b>徳</b> ④小学6年生の中学校見学会 <b>知</b> ⑤小学6年生の部活動見学会 <b>知</b> ⑥小中学校相互での授業作品交流 <b>徳</b> ⑦「なわとび活動」の小中を通しての取組み <b>体</b>	⑧小中教職員の授業参観交流 ⑨中学進学時の引継ぎ ⑩外部機関との連携に関する記録（ケース会議を含む）の共有や引継ぎ ⑪担当部門（指導担当 研究担当・不登校対策担当 等）の交流	⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫不登校や生徒指導に関する合同研修会 ⑬学校経営方針等に関する小中の交流（管理職）	⑭小中一貫した教育に関する保護者への周知活動（便り、学校説明会） ⑮保護者に関わる行事の日程調整 ⑯保護者アンケート（評価）の小中共通項目の設定 ⑰地域ボランティア人材データの共有 ⑱地域行事への児童生徒参加の働きかけや周知活動への協力

今年度の取組みスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
取組					⑧、⑪夏季休業期間 中⇒小	⑤
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	③オンラインでの鑑賞も		⑥中⇔小（作品交流）	⑧、⑪冬季休業期間 小⇒中	⑨ ④	⑬

※ ⑦、⑩、⑭～⑱（視点4）は通年を通し、適時実施していく。

評価

○小中一貫した教育の取組みの評価は、学校自己評価並びに学校関係者評価において、新たな項目を起し行う。

＜評価における視点＞

- ・二つの柱、4つの視点に基づいた活動となっているか。
- ・系統性や地域性を重視した校種間連携ができているか。
- ・教職員や地域関係者との積極的な交流事業や企画、情報交流等ができているか。
- ・子どもの学ぶ意欲や自己肯定感の増進につながっているか。